「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊東市民劇場）

日時：令和８年９月２５日（金）１５時００分～１６時００分
場所：中央会館第１研修室

① 新文化ホールの建設について

② 市制施行８０周年記念事業について

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊東市民劇場）

意　　見
新文化ホールの建設について 新文化ホールについて、どのような用途・役割を持つ施設として建設することを考えていますでしょうか。 伊東市には、音楽、演劇、伝統芸能、合唱、発表会、講演会等、様々な文化活動を行っている市民や団体があります。また、鑑賞する側にとっても、子どもから大人まで、様々な形で文化・芸術に触れることのできる場所が必要だと考えています。そのため、新文化ホールについては、例えば「音楽」など特定の分野に偏った施設にしてしまうのではなく、市民の文化活動に柔軟に対応できる施設として検討していただきたいと思います。ホールは、舞台の大きさ、客席数、音響、舞台機構、楽屋、搬入口など、どのような機能を選択するかによって、実際に利用できる文化活動の幅が大きく変わりますので、建設計画には、以下のことを十分に調査・検討をしていただいと思います。 ・市民・団体が日頃からどのような活動を行っているのか ・市民・団体が新しいホールに何を求めているのか ・音楽、演劇等それぞれにどのような設備が必要なのか ・他市の文化ホールでは、どのような施設が実際に利用され、どのような課題が生じているのか ・専門家の意見を取り入れる
回　　答
新文化ホールについては、現在、伊東市にとってどのような機能や規模を持たせることが望ましいのか、調査・検討を進めている段階です。 特定の文化・芸術分野に限定した施設とするのではなく、伊東市で活動する市民の皆様や文化団体の皆様に幅広く利用していただき、多くの市民の皆様に親しまれる施設となることが重要であると考えています。 また、市民の文化活動の発表や鑑賞の場としての役割に加え、市外からも優れた文化・芸術の公演等を伊東市に呼ぶことができる施設とし、市民の皆様が質の高い文化・芸術に触れる機会を創出するとともに、来訪者を呼び込むことで、観光や地域の活性化にもつながる施設としていくことも目指していきたいと考えて

います。

さらに、文化・芸術の拠点としての役割だけではなく、災害が発生した際には、地域の皆様の安全・安心を支える施設として、避難場所としての活用も想定するなど、平常時と災害時の双方において市民の方の役に立つ施設となることについても検討していきます。

そのためには、ホールの規模や客席数、舞台の大きさ、音響設備、舞台機構、楽屋、搬入口等、どのような機能を備えることが伊東市にとって適切なのかを、利用する市民の皆様や文化団体の皆様の活動実態やニーズを踏まえて検討する必要があります。

今後、他市の文化ホールにおける利用状況や施設の機能、運営上の課題などについても調査するとともに、専門的な知見を持つ方からの意見を伺いながら、伊東市にふさわしい文化ホールのあり方について検討を進めてまいります。

また、施設の機能や規模などについて、一定の方向性をお示しできる段階となりましたら、改めて市民の皆様からご意見を伺う機会を設け、いただいたご意見を参考にしながら進めていきたいと考えています。

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊東市民劇場）

意　　見
市制施行８０周年記念事業について 市制施行 80 周年記念事業として、青年劇場「あの夏の絵」演劇鑑賞会を提案します。 伊東市は平和宣言都市として、平和の尊さを次世代に伝えていく役割を担っています。戦後 82 年となる 2027 年に戦争の直接体験した世代が少なくなる中、演劇という市民が参加しやすい文化芸術を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える機会を作ることは、80 周年という節目にふさわしい事業になると思います。 市制施行 50 周年記念事業の際、「森は生きている」演劇鑑賞会を開催しており、伊東市教育委員会、伊東おやこ劇場、伊東市民劇場の呼びかけにより、800 名の親子を中心に大好評を博して、30 年経った今も記憶に残っています。
回　　答
現在、伊東市では、各課から選出された職員によるワーキンググループを設置し、市制施行 80 周年を市民の皆様とともに祝い、伊東市の魅力を再認識するとともに、将来につながる節目の年とするため、どのような記念事業を実施することがふさわしいか、様々なアイデアを持ち寄りながら検討を進めている段階です。 市制施行 80 周年という大きな節目を、市民の皆様にとって身近で意義のあるものとするためには、できるだけ多くの方に参加していただき、世代を超えて共有できる機会を作ることが大切であると考えております。 また、市が直接主催する事業だけではなく、市民団体等の皆様が主体となって実施する事業についても、市制施行 80 周年を記念する事業として位置付けることで、多くの市民の皆様に参加していただき、80 周年を一緒に盛り上げていくことができるのではないかと考えております。 今回いただいたご意見をはじめ、市民の皆様から寄せられるご提案やアイデアを参考にしながら、80 周年を振り返るだけでなく、これからの伊東市につながる、

「かずや市長と語る市政懇談会」意見及び回答
（伊東市民劇場）

心に残る記念事業を検討してまいります。